

## リオデジャネイロ オリンピックに参加して

リトルトキヨウプロダクション

松本 弥生 (平26院卒)

私は、沼津市に生まれ、飛龍高等学校を卒業し、日本体育大学に進学

しました。高校時代ではインターへいや国体で優勝するなど、水泳を始めた頃からの夢であるオリンピックの舞台へ着々と前進していきました。

北京五輪代表選考会では、惜しくも落選してしまい、夢の舞台へ立つ事

日体大へ入学してすぐに行われた

切符も掴みとることができました。

リオ五輪では、四〇〇mリレーで

二大会連続の決勝進出を果たし、予

選時では、六年振りに日本記録を更

新する事ができました。レースが終

わってみれば充実感に包まれ、笑顔

で大会を終えました。

すなど、競技者として満足感を感じ、引退を考えました。しかし、オリン

ピック後の休養期間中に、沸々とも争心が芽生え、四年後のリオ五輪に挑戦する事を決意しました。

それからの四年間は、決して順風

満帆ではありませんでしたが、なん

とか代表入りをし続け、リオ五輪の

切符も掴みとることができました。

時代の恩師から、「オリンピックに行きたいではなく、絶対に行くと強く思つた選手がオリンピックに行けるんだ」という言葉を頂き、そこから四年間、ひたすらにオリンピックへ絶対行くという気持ちを強く持ち、藤森善弘コーチのもと、日体大で練習に励みました。

そして徐々に才能が開花し、大学

二年生から毎年、世界水泳やアジア

大会など、代表入りを果たし、同大

学大学院一年生の時に、念願であつたロンドン五輪に出場する事ができました。

ロンドン五輪では、四〇〇mリレ

ーで四十四年振りの決勝進出を果た

しました。

現在は、現役を長期休養とし、新

たな道を進んでいますが、東京五輪

はとても魅力的な大会です。出られ

たらしいな。とは思いますが、この

気持ちが、絶対出る。という気持ち

に変わった時、再度、オリンピック

の舞台へ挑戦したいと思つていて

ので、その時は、ご声援をよろしく

お願ひします。

### ●プロフィール

#### 【経歴】

静岡県沼津市出身  
飛龍高等学校卒業、日本体育大学体育学部体育学科卒業、日本体育大学大学院修了  
LITTLE TOKYO PRODUCTION 所属

#### 【主な戦績】

2009年 日本選手権 100m自由形 3位  
2009年 ユニバーシアード 400mフリーリレー 2位  
2010年 日本選手権 50m自 優勝／100m自 2位  
2010年 ジャパンオープン 50m自由形 優勝  
2010年 日本学生選手権 50m自 優勝／100m自 優勝  
2010年 国民体育大会 50m自由形 優勝  
2010年 アジア大会 50m自由形 3位  
2011年 国際大会代表選手選考会 50m自由形 優勝  
2011年 世界選手権 400mメドレーリレー 5位／400mリレー 7位  
2011年 ユニバーシアード 100m自由形 4位  
2011年 日本学生選手権 100m自由形 優勝  
2012年 日本選手権 50m自 2位／100m自 2位／200m自 3位  
2012年 ロンドン五輪 400mリレー 7位／800mリレー 8位  
2013年 日本選手権 50m自 優勝／100m自 4位  
2013年 世界選手権 400mフリーリレー 7位  
2014年 日本選手権 50m自 2位／100m自 2位／200m自 2位  
2014年 パンパシ 400mフリーリレー 3位  
2014年 アジア大会 50m自 6位／100m自 5位／400mFR 2位  
2014年 世界短水路 400m、800mフリーリレー 6位  
2015年 日本選手権 50m、100m自由形 2位／200m自由形 6位  
2015年 世界選手権 400mフリーリレー 9位  
2016年 日本選手権 50m自由形 2位／100m自由形 3位



松本 弥生



は叶いませんでした。その時、高校時代の恩師から、「オリンピックに行きたいではなく、絶対に行くと強く思つた選手がオリンピックに行けるんだ」という言葉を頂き、そこから四年間、ひたすらにオリンピックへ絶対行くという気持ちを強く持ち、藤森善弘コーチのもと、日体大で練習に励みました。

これまでの水泳人生は、本当に沢山の方に応援され、環境にも恵まれ、何不自由なく大好きな水泳に打ち込むことができました。沢山の方の応援に応えたいという気持ちで様々な大会に臨んでいましたが、オリンピックでは、最後は自分の為に頑張りたいと思い、ここまでやつてこれまで大会に臨んでいましたが、オリンピックでは、最後は自分の為に頑張りたいと思い、ここまでやつてこれまで

二年生から毎年、世界水泳やアジア大会など、代表入りを果たし、同大学大学院一年生の時に、念願であつたロンドン五輪に出場する事ができました。

ロンドン五輪では、四〇〇mリレーで四十四年振りの決勝進出を果たしました。

現在は、現役を長期休養とし、新たな道を進んでいますが、東京五輪はとても魅力的な大会です。出られたらいいな。とは思いますが、この気持ちが、絶対出る。という気持ちに変わった時、再度、オリンピックの舞台へ挑戦したいと思つていてるので、その時は、ご声援をよろしくお願ひします。